

図 II - 12 入院集中訓練と通院訓練における  
GMFCS別GMFM領域の変化  
GMFCSIV

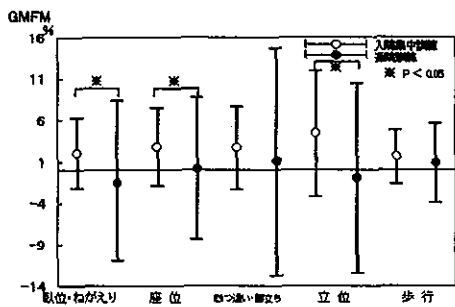


図 II - 13 入院集中訓練と通院訓練における  
GMFCS別GMFM領域の変化  
GMFCSV

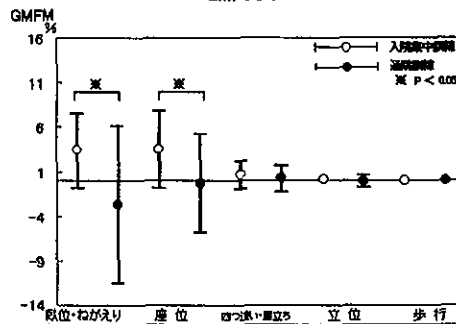


図 II - 14 入院集中訓練と通院訓練における  
年齢別GMFM領域の変化 0~5歳

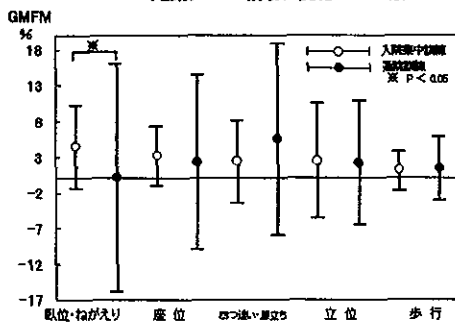


図 II - 15 入院集中訓練と通院訓練における  
年齢別GMFM領域の変化 6~9歳

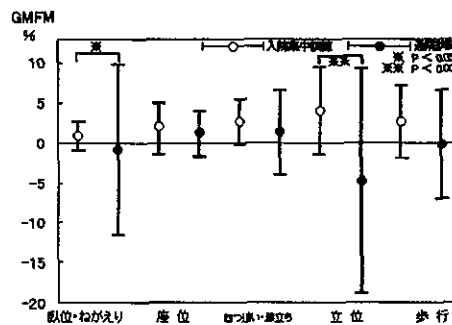
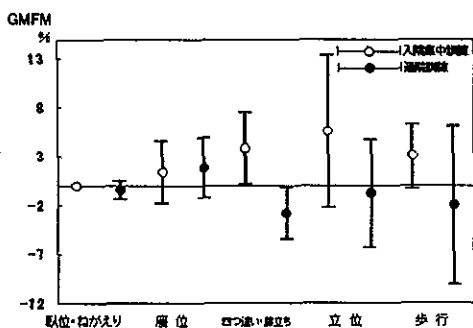


図 II - 16 入院集中訓練と通院訓練における  
年齢別GMFM領域の変化 10歳以上



## 資料Ⅲ - 1 母子入院に関するアンケート調査

記入日 年 月 日

当センターの母子入院に関して、今後、より良い指導（援助）を行う為に皆様のご意見を頂きたく、お忙しいところ恐縮ですがアンケート調査へのご協力をお願い致します。

### 1 お子さんについて

1) 年齢 ( 歳 ヶ月) 2) 性別 (男 女) 3) 病名 ( )

2 何回目の母子入院ですか ( 回目)

3 入院期間は何週間でしたか ( 週間)

4 スケジュール (入所期間, リハ頻度) について

入院期間 短い・少し短い・適当・少し長い・長い

リハ頻度 少ない・少し少ない・適当・少し多い・多い

### 5 指導内容について

母子入院中のPT、OT、ST、心理での指導（援助）の内容でよかったこと、効果がみられたこと、わからなかったこと、不十分だったことなどご意見をお聞かせください。

6 母子棟での生活（保育、学習会、日常のことなど）母子入院全般を通してご意見、ご感想、ご意見、ご要望などございましたらお聞かせください。

### 7 スタッフの対応

医師、看護師、保育士、PT、OT、ST、心理、医療ソーシャルワーカー、事務などの対応でよかったこと、不満に思われたことがありましたらお聞かせください。

8 以下の質問にお答えください。

選択肢 1 思わない 2 あまり思わない 3 どちらでもない  
4 ややそう思う 5 思う

- |                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| 1) 家庭での訓練方法がよくわかった            | 1・2・3・4・5 |
| 2) 家庭での育児や関わり方に自信がついた         | 1・2・3・4・5 |
| 3) 他児の母親とのコミュニケーションや情報交換が良かった | 1・2・3・4・5 |
| 4) 母親自身のリフレッシュになった            | 1・2・3・4・5 |
| 5) 家庭より子供に関わることに集中できた         | 1・2・3・4・5 |
| 6) 子供に良い変化、機能向上が見られた          | 1・2・3・4・5 |
| 7) 全体として                      |           |

不満足・やや不満足・どちらでもない・やや満足・満足

9 母子入院に関して、1ヵ月間家庭を留守にするということは核家族の時代にそぐわず、母子入院という制度はなくても良いという考え方もあり、他の施設では実施していないところもあります。

もし毎日通院訓練が施行できると仮定したら(さまざまな条件があり当施設ではできないことですが)母子入院は必要と思われますか。

ご意見をお聞かせ下さい

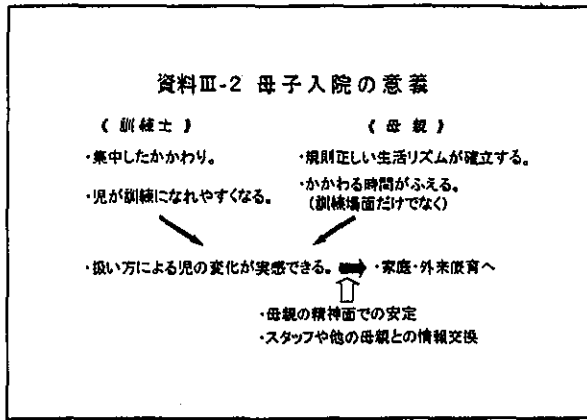
\* 毎日通院訓練が施行できるとしたら母子入所は  
必要 必要でない

\* その理由を具体的にお聞かせ下さい

(例) 母子入院の方がお子さんに関われる時間が長い  
長期間家庭を留守にすることはできない

\* 退院時に母子棟職員へ提出してください

ご協力ありがとうございました



**表Ⅳ-1 脳性麻痺児運動療法の方法**

**ファシリテーション療法**

Bobath approach(neurodevelopmental treatment:NDT)  
 Vojta法、Rood法、Kabat法、Doman-Delacato法、上田法  
 Family-centred functional therapy  
 Functional physical therapy

**筋力増強訓練**

筋力強化マシン、電気刺激、各種歩行補助装置、  
 biofeedback training

**体力訓練**

自転車エルゴメーター、トレッドミル、水泳・水中歩行訓練、乗馬  
 療法

**集中訓練**

NDT、筋力増強、体力訓練

**表Ⅳ-2 脳性麻痺児に対する運動療法の課題**

- ・児の変化を適切に評価できる共通の評価法がなかった。
- ・様々な訓練方法が比較検討されることなく実施されてきた。
- ・訓練効果に影響を及ぼす因子が訓練士、児や家庭の状況など 広範囲にわたり複雑。
- ・児の運動能力の予後予測が不十分。
- ・麻痺(痙攣、アトーゼ、失調など)を抑制する治療法が不十分で運動療法の効果を上げにくかった。
- ・ランダム化比較試験(RCT)などの研究デザインが実施しにくい。

**表Ⅳ-3 脳性麻痺児運動療法に関するエビデンスレベル I の報告**

	著者名	報告年	エビデンスレベル	訓練方法	結果	備考
ファシリテーション	Palmer FB et al	1990	I b	NDT	無効	
	Ketelaar M et al	2001	I b	functional physical therapy	有効	(PEDI)
筋力強化	McCubin et al	1985	I b	isokinetic resistance exercise	有効	
	Sommerfelt K et al	2001	I b	電気刺激	無効	
	Dali et al	2002	I b	電気刺激	無効	
	Linden ML et al	2003	I b	電気刺激	無効	
	Dodd KJ et al	2003	I b	home-based strength-training program	有効	
集中訓練	Mayo NE	1991	I b	NDT	有効	
	Law M et al	1991	I b	NDT	無効	(上肢機能)
	Bower E et al	1998	I b	NDT	有効	(ゴール設定)
	Law M et al	1997	I b	NDT	無効	(上肢機能)
	Bower E et al	2001	I b	NDT	無効	

# 重症心身障害児(者)の包括的評価 — 早期訓練の評価方法について

愛知県青い鳥医療福祉センター 岡川 敏郎  
信濃医療福祉センター 朝貝 芳美

## 研究要旨

早期に発達促進訓練を行っても既成の評価方法では変化のみられにくい重度の脳性まひ児の発達変化を育児者は感じ取っていることがわかった。その観察項目は介助のしやすさとしてとらえられる筋緊張の変化、周囲への気づき・認知の変化、姿勢や運動発達変化、呼吸・摂食機能の変化であった<sup>1)</sup>。これらの領域の発達の变化を育児者や多く関わっているセラピストへの聞き取りで行うのが実際的と考え、質問に答えることで、子どもの発達レベルを共有でき、同時にそのレベルから望めるリハビリテーション目標が決定できる評価表を試作した。

## A) 研究の目的

障害が非常に重度である場合、発達促進訓練を早期に行ってもやはり発達が遅々としているので、その治療効果が見えにくい。既製の評価表ではスケールが粗すぎて変化が出ず、効果なしと判定されかねない。しかしスケール単位を乗り越えるだけの変化がなくとも、セラピストや育児者には微々としているが良い変化を実感していることが多い。昨年度はセラピスト、次いで重症心身障害児を持つ母たちとブレインストーミングによりどのような領域でどのように変化を感じ取っているのかを報告した。その結果、頻度順に、1. 介助のしやすさとしてとらえられる筋緊張の変化、2. 母とのやりとりからうかがえる周囲への気づき、認知の変化、3. 姿勢や運動発達の変化、4. 呼吸や摂食機能の変化が挙げられた。臨床効果のエビデンスの一つとして被介入者の満足度・達成感は欠かせず、他者にはとらえにくい重度発達障害児の機能訓練の効果判定には、いつも接している育児者からの聞き取りで行うのが最も変化をとらえ

やすいと考えた。そこで4、呼吸や摂食機能は神田・村山らのものを評価として用いることができるので、子どもに多く関わっている親とセラピストへの質問から成る形式で「姿勢と筋緊張」、「認知・コミュニケーション」、「目と手の協調」の領域の発達の变化を評価することにした。回答することで障害の程度を知ってもらい、発達状態を確認してもらう。そのレベルから目指せる発達課題を親とともに目標設定する<sup>2)</sup>。その援助となれるような性格の質問表を目指して試作する。

## B) 方法

昨年度のブレインストーミングで得られた観察可能な項目を「姿勢と筋緊張」、「認知・コミュニケーション」、「目と手の協調」の3領域について列挙し、おおよその発達順序に並べる。また文献的に重症心身障害児の発達について調べ、その発達の微妙な変化をとらえられそうな項目についても組み入れた<sup>3)、4)、5)</sup>。

## C) 結果

「脳性麻痺などによる思い障害をもつ幼児のためのリハビリテーション課題設定用

質問用紙」と名づけて、以下の特徴を有することとした。

1. この質問紙は発達を促そうとリハビリ指導を続けてこられた乳幼児について、予想されるよりも発達が遅々として既成の「GMFM」や「PEDI」やその他の発達検査では変化をとらえきれなくなった方を対象にします。
2. この質問紙によりお子さんの障害状態をあらためて把握する一助とし、さらにそのレベルから目指せる目標をみつけてアプローチの方法を保護者とともに決定しようとするものです。
3. 思い障害を持つお子さんの発達は必ずしも正常発達の順序どおりではないし、障害像は多彩です。したがってそのすべてを評価するのは困難です。またその発達変化も微々たるものであろうと思われます。
4. したがって状態評価もリハビリテーション・アプローチも目標指向的で具体的なものにしました。
5. 基本的な発達促進の目的である「認知・コミュニケーション」、「目と手の協調運動」、「抗重力姿勢-座位能力」の3分野に限ることにし、生命維持機能である「呼吸」と「摂食」については、神田・村山らのものを用いるのがよいと思われます。
6. 質問紙から成りますが、回答は保護者とお子さんによく関わっているセラピストにさせていただきます。
7. 準拠すべき標準はなく、対象者間での比較は無意味です。ただ同一対象者内での変化を見て、その都度目標設定するためのものです。

さらに質問用紙は階層的な構造とし（フロー図）、お子さんの発達レベルに向けた質問表にたどり着きそれぞれの項目に回答してもらおう。質問の意味の解説を用紙内に記入しておき、お子さんの発達レベルを知ってもらう手がかりとなれるようにする。各質問は能力レベルを問うもので、10段階評価で現在の到達レベルを表現してもらおう。この質問表を使うレベルのお子さんにはそのレベルで目指すべき課題が指標として用意され、短期的なリハビリテーション課題を母とセラピストが共同してプランを立てる。これはできるだけ具体的なものとする。そのためのテクニックや指導方法はセラピストの技量に任される。一定期間が過ぎたとき（3～6ヶ月毎）、同じ質問表に回答することでその変化を10点スケールのなかで知る。次の課題内容はさらに同じ目標を続けるか、新たな目標をその質問表レベルで設定するかあるいは、さらに発達の進んだほうの質問表の項目に設定するかとなる。いずれにしても目標指向的なリハビリテーションを計画するものとする。

用紙の試案を付図に示す。

## D) 考察と結論

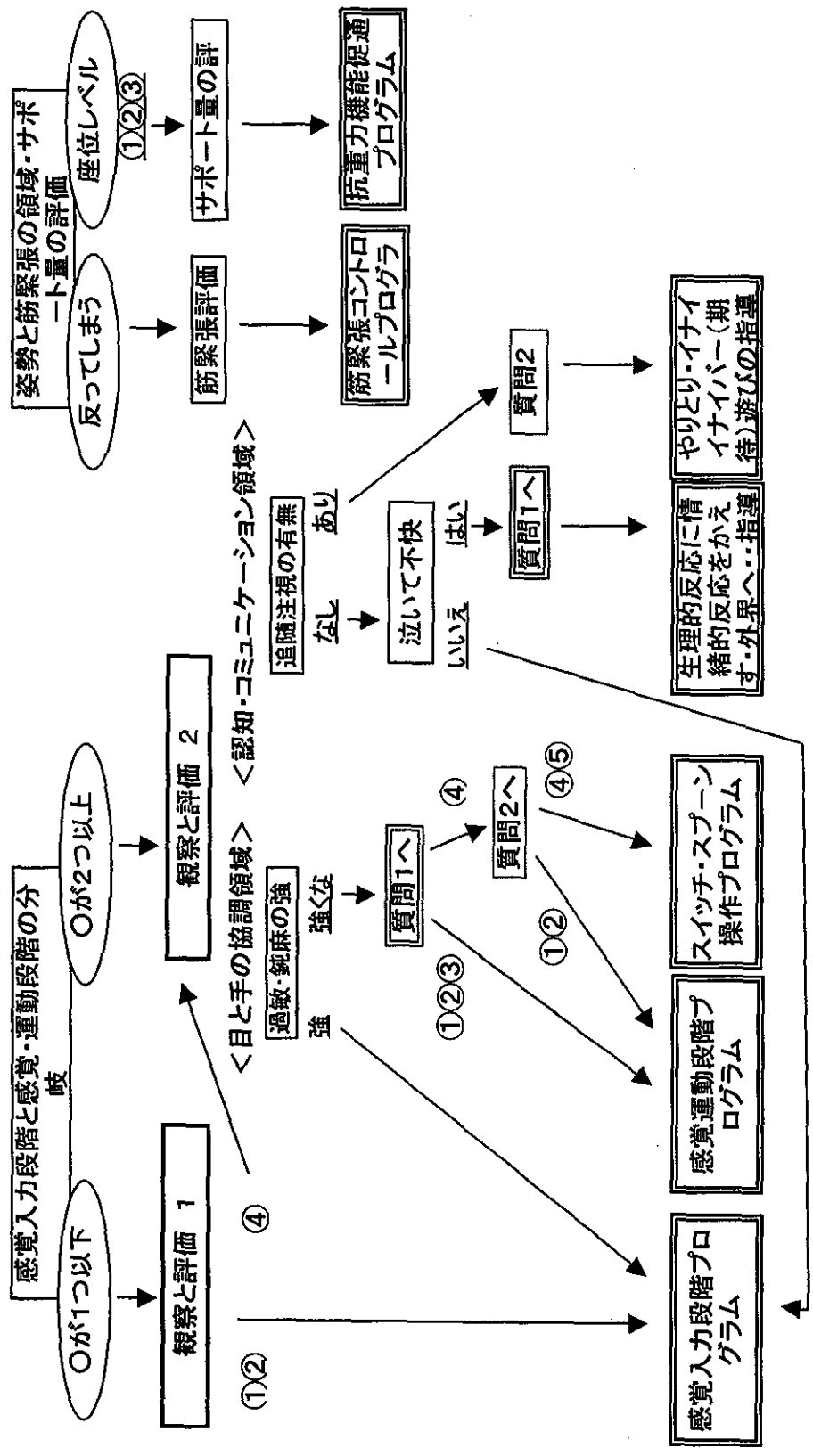
質問用紙を試作するところまで作業が進んだ。今後、評価マニュアルを作成し、これを添えて評価法を試行してもらおうプランナーを選定すること、使用上の感想から全体の印象、使用感、項目・設問の内容、評価段階について情報収集する（妥当性の検討）。また1人の被験者について二人の験者がチェックして信頼性を検討するという作業が残っている。

文献

1. 「運動機能訓練効果の見えにくい重度の脳性まひ児に対する評価方法の実態調査」岡川敏郎、朝貝芳美、厚生労働省障害保健福祉総合研究事業「発達障害児のリハビリテーション（医療・療育）の標準化と地域における肢体不自由児施設の機能にかんする研究」平成 15 年度研究報告書。主任研究者：坂口 亮、平成 16 年 3 月。p..
2. 「COPM カナダ作業遂行測定。第 3 版」Marry Law, Ph.D.,OT、et al.  
吉川ひろみ／上村智子訳、大学教育出版、岡山、2001 年。
3. 「重症心身障害児の認知発達とその援助」片桐和雄・小池敏英・北島義夫、1999 年、北大路書房。京都。
4. 「コミュニケーションの発達と指導プログラム」長崎勤・小野里美帆、1996 年、日本文化社。
5. 「発達障害と作業療法－基礎編」岩崎清隆、2001 年、三輪書店。
6. 「発達障害と作業療法－実践編」岩崎清隆、2001 年、三輪書店。
7. Hallett R ,Hare N and Milner AD 1987 "Description and evaluation of an assessment form" Physiotherapy vol.73:220-225.
8. 「M.O.V.E.」 Linda Bidabe ,1991, MOVE international, Bakersfield.



# 評価とプログラム作成支援の流れ



脳性麻痺などによる重い障害をもつ幼児のためのリハビリテーション課題設定用質問紙

愛知県青い鳥医療福祉センター 岡川敏郎

個人票（親とセラピスト共同で作成します）

お名前 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_年\_\_月\_\_日、カルテ番号 \_\_\_\_\_  
診断名 \_\_\_\_\_ 障害名 \_\_\_\_\_ GMFCS分類 \_\_\_\_\_

記入日 \_\_\_\_年\_\_月\_\_日、体重 kg、身長 cm、最近3ヶ月間の発熱日数 日、機嫌(良い、普通、不良)  
服薬 \_\_\_\_\_

その他の情報 \_\_\_\_\_

呼吸のようす： 1: 気管切開 2: いつもゼコゼコしている 3: 吸気で胸がくぼむ 4: やすらか  
排便のようす： 1: 浣腸や下剤による 2: 自然排便だが3日以上の間隔 3: 自然排便でほぼ毎日  
体温の調節はできていますか？ 1: いいえ 2: ほぼできている 3: できている

【認知発達の基礎情報(近接受容器)】

- (触覚過敏) \* 急にさわられるとびっくりする \_\_\_\_\_ 1: よくある 2: ときにある 3: しない  
\* 顔や手足に触られると顔をいやがる \_\_\_\_\_ 1: いやがる 2: ときどき 3: ない 4: よろこぶ  
\* 握ったものをすぐはなしてしまう \_\_\_\_\_ 1: すぐはなす 2: 少し持たてられる 3: しばらく持たてられる  
(触覚鈍麻) \* くすぐられても反応しない \_\_\_\_\_ 1: 反応しない 2: 少し反応 3: くすぐったがる  
\* 注射やけがで痛がらない \_\_\_\_\_ 1: 反応しない 2: 少し反応 3: 痛がる  
(味覚) \* 1: わからない 2: (・酸っぱい・苦い・味の濃淡・他 \_\_\_\_\_)がわかる  
\* 気に入った食べ物がある \_\_\_\_\_ 1: ない 2: ある  
(嗅覚) \* 強いにおい(味噌・香水など)に反応する \_\_\_\_\_ 1: しない 2: する  
\* (おっぱいやミルクなど)好きなにおいがある \_\_\_\_\_ 1: ない 2: ある  
(前庭・固有覚)  
\* 手足を動かされると \_\_\_\_\_ 1: いやがる 2: ふつう 3: よろこぶ  
\* 抱っこされて揺られると \_\_\_\_\_ 1: いやがる 2: ふつう 3: よろこぶ  
\* 斜め抱きで顔を起こしてくる \_\_\_\_\_ 1: ない 2: ときにある 3: ある

(感覚入力の段階と感覚・運動段階との分岐)のための質問です： \* のところに○をつけてください。

お子さんは、

- \* 動くものを左右・上下に目で追いますか
- \* 音のした方に顔あるいは眼を向けますか
- \* 目を合わせ、笑って語りかけると笑ってこたえますか

○が0か1つしかつかなかった方は → 【観察と評価 1】(感覚入力段階のプログラム)へ

○が2つ以上ついた方は → 【観察と評価 2】(感覚・運動段階)へ

【観察と評価 1】

通常の状態を考えて、①から⑤までの数字に○をつけてください。

記入日 \_\_\_\_年\_\_月\_\_日 ( \_\_\_\_歳\_\_ヶ月)

- \* 生活リズムについて  
①うとうとしていることが多い ②昼夜逆転している ③昼夜の区別が少しある ④昼夜の区別がほぼある ⑤生活リズムが確立している
- \* 機嫌が悪くなっても、あやされると回復することが  
①みられない ②まれにある ③時々はある ④しばしばある ⑤常にみられる
- \* からだを揺すられると表情が緩んで機嫌が良いことが  
①みられない ②まれにある ③時々はある ④しばしばある ⑤常にみられる
- \* 抱っこされやすいようになじんでくれることが  
①みられない ②まれにある ③時々みられる ④しばしばある ⑤常にそうだ
- \* 人や周りのものをじっとみるのが  
①ない ②まれにある ③時々みられる ④しばしばある ⑤ある
- \* 音のした方に顔を向けることが  
①みられない ②まれにある ③時々みられる ④よくある ⑤ある
- \* 動くものを目で追うことが  
①みられない ②まれにある ③時々ある ④よくある ⑤十分にある
- \* 手にさわったものを見るのが  
①みられない ②まれにある ③時々ある ④よくある ⑤十分みられる
- \* おもちゃなどに手を出す  
①みられない ②まれにある ③時々ある ④よくある ⑤十分にある
- \* 顔を近づけたり、声をかけると喜ぶ  
①みられない ②まれにある ③時々ある ④よくある ⑤十分みられる
- \* 目が合って、語りかけると笑って応える  
①みられない ②まれにある ③時々ある ④よくある ⑤十分みられる
- \* おかあさんを他の人と区別しているかどうか  
①区別していない ②まれに区別している ③時々区別しているようだ ④区別していると思われる ⑤はっきり区別している
- \* 甘え泣き、不安泣き、空腹泣きなど区別がある  
①区別がない ②まれに区別を感じる ③時々区別があると感じる ④区別していると感じる ⑤はっきり区別している

⇒ ①、②、③の多いかたは生活リズムの確立や【感覚入力段階の治療内容と目標】でプログラムを作成する。

【観察と評価 2 目と手の協調機能発達領域】

記入日 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( \_\_\_\_歳 \_\_\_\_ヶ月)

触覚の発達異常の有無についておききします。

- ・ 触れられるのを嫌がる(過敏) ことがありますか? (該当する頭の数字に○)

\*手や顔を拭かれるのを嫌がる

- ①嫌がってやらせない ②とても嫌がる ③嫌がることが多い ④少し嫌がる ⑤嫌がらない

\*着替え(頭・袖を通す、靴下をはかせる)でゴワゴワ感を嫌がる

- ①嫌がってやらせない ②とても嫌がる ③嫌がることが多い ④少し嫌がる ⑤嫌がらない

\*手のひらや足のうらに触ると嫌がってひっこめる

- ①とても嫌がる ②嫌がるが多い ③少し嫌がる ④嫌がることもある ⑤嫌がらない

- ・ 感覚鈍麻があるかおききします。 (該当する頭の数字に○)

\*くすぐられても平気な顔をしている

- ①反応しない ②まれに反応 ③少し反応 ④ほぼ反応する ⑤くすぐったがる

\*けがや注射で痛がらない

- ①反応しない ②まれに反応する ③少し反応がある ④よく反応する ⑤痛がって嫌がる

視覚の発達についておききします

\* 物を見つづけることができますか

- ①一瞬だけ ②ちょっと見つめることがある ③ときどきみられる ④じっとみることがある ⑤目で少し追う

◎ ①、②、③に該当(過敏や鈍麻が強くみられる方とも物を見つづけれない)した方は ⇒ まず感覚の調整を主とした指導プログラムへ(例えば、鋭い刺激を避け、ゆっくり強く広く触刺激を。または強く一冷たいとかはっきりした一触刺激を。といった指導)

◎ 感覚異常がそれほどでもない方(④、⑤に該当)とも物を見つづけられる方は ⇒ 質問 1 (感覚・運動段階) へ

※ (プログラム作成の参考)

介助座位または座位保持装置を使用しておもちゃに手をのばせますか

いいえ ⇒ 空中操作をともなわない遊び(押す、引く、テーブル上の操作)のプログラムへ

はい ⇒ 空中操作をともなう遊び(箱へ入れる、積み木を積む等 ADL 動作へつながらる)のプログラムへ

【観察と評価 2 目と手の協調機能発達領域】

質問 1 ※ (遊べるおもちゃが用意できる)

記入日 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( \_\_\_\_歳 \_\_\_\_ヶ月)

以下の動作は \* あおむけですか、\* 横向きの姿勢ですか、\* 座位にさせた場合ですか (\*のどれかになに○をつけてください)

該当する頭の数字に○をつけてください。

- \* おもちゃに手をのばしますか  
①のばさない ②のばすときがある ③たまにある ④よくある ⑤ある
- \* おもちゃに手をふれますか  
①ふれない ②ふれるときがある ③たまにある ④よくある ⑤ある
- \* ものを引っばることがありますか  
①引けない ②引くときがある ③たまにある ④よくある ⑤ある
- \* おもちゃを振りますか  
①振らない ②振るときがある ③たまにある ④よくある ⑤ある

◎ ①、②、③の多かったかたは ⇒ 「感覚運動段階のプログラム」の治療計画作成へ

◎ すべて④または⑤だったかたは ⇒ 質問 2 (スイッチ操作やさらなる手の巧緻性アップを目指せる) へ

質問 2 (遊べるおもちゃがひろがる・スイッチやキーによる入力へつながる)

記入日 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( \_\_\_\_歳 \_\_\_\_ヶ月)

以下の動作は \* あおけですか、\* 横向きの姿勢ですか、\* 座位にさせた場合ですか (\*のどれかになに○をつけてください)

該当する頭の数字に○をつけてください。

- \* 握ったものをはなせますか  
①しない ②まれに ③少し ④いづらか ⑤できる
- \* しばらく握っていられますか  
①しない ②ほんの少しの間 ③少しの間 ④しばらく ⑥長く
- \* 手をたたくことができますか  
① しない ②まれに ③少し ④いづらか ⑤できる

◎ ①、②、③の多かったかたは、「感覚・運動段階のプログラム」で治療計画へ

◎ ④、⑤のかたは、目標を「ADL 介助量の軽減、スプーン操作、パソコンキー・スイッチ操作など」にしたプログラムを作成する。

【観察と評価 2 認知・コミュニケーション領域】

記入日 \_\_\_\_年\_\_月\_\_日 ( 歳 ヶ月)

◎お母さんと同じ視線を追って同じものを見ますか(追隨注視)?-----4~6ヶ月、外界への志向性

- \* いいえ (4ヶ月以前) → 泣いて不快感をうったえますか?  
 \*いいえ → 感覚入力プログラムへ  
 \*はい → 質問セット1へ-----快・不快の弁別がある
- \* はい (4~6ヶ月以降) → 質問セット2へ  
 ※共同注視ができる(9ヶ月)以上の発達は対象外としました。

〔質問セット1〕(全てできれば4ヶ月未満の発達) 番号のあるものは該当する・に○(いくつでも可)を、そうでない質問には1から10までの○をつけてください。{まったくしない・ない}を1として「まれに」とか「ときどき」といった場合ほど10に近づき、{常に、完璧にある・できる}を10としてください。どこまでできるでしょうか?

【要求伝達系】

- \* 泣いて、オムツがぬれた、おなかがすいた、眠いなどを知らせる

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつも	み
しない								られる	

- \* おなかがいっぱいになると顔をそむけたり、体をのけぞらせたりして食事を拒否する

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつも	み
しない								られる	

- \* 大人が近くまで行くと泣き方が弱くなるか泣き止む

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつも	み
ない								られる	

- \* 気持ちが良いと顔やからだがゆるむ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつも	み
ない								られる	

【相互伝達系】

- \* 抱かれると表情に変化がある

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつも	み
ない								られる	

- \*大人と目が合う

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつも	み
ない								られる	

- \* 笑いかけると笑う

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつも	み
しない								られる	

- \*話しかけるとそれに応じて手足を動かしたり、声を出す(共鳴動作)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつも	み
ない								られる	

【音声言語理解】

- \* 後ろからのベルやガラガラの音に反応する  
～ふり向く

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつもみ	
ない								られる	

- \* 後ろから声をかけると反応する～ふり向く

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつもみ	
ない								られる	

【音声言語表出】

- \* 泣き声を使いわけている（・空腹 ・オムツ ・眠い ・その他\_\_\_\_\_）
- \* 発声できる音に○をつけてください（・アー ・イー ・ウー ・エー ・オー ・その他\_\_\_\_\_）

⇒ 「子どもの生理的反応に情動的反応をかえしていく、外界への嗜好性など」の親指導へ

【観察と評価 2 認知・コミュニケーション領域】(全てできれば4ヶ月以上の発達)

【質問セット2】番号のあるものは該当する・に○（いくつでも可）を、そうでない質問には1から10までの段階の数字に○をつけてください。{まったくしない・ない}を1として「まれに」とか「ときどき」といった場合ほど10に近づき、{いつも、完璧にある・できる}を10としてください。どこまでできるでしょうか？

記入日 \_\_\_\_年\_\_月\_\_日（\_\_歳\_\_ヶ月）

【要求伝達系】

- \* 「取って」などと言わんばかりに大人をみて要求する  
(4～5ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつもみ	
しない								られる	

- \* 「アー」「ウー」など声を出して要求する  
(6ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつもみ	
しない								られる	

- \* 手をのばして要求する  
(6～7ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつもみ	
しない								られる	

【相互伝達系】

- \* 親の視線を追って同じものを見つめる  
(4～5ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつもみ	
ない								られる	

- \* 大人の注意を引こうと声を出す  
(4ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつもみ	
ない								られる	

- いつも世話している人とそうでない人の  
区別ができていようだ  
(8ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								十分でき	
ない								ている	

- \* 「おいで」というと抱かれようとする  
(6ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつもみ	
しない								られる	

- \* 大人のやっていることをじっとみている  
(8ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く								いつもみ	
ない								られる	

【音声言語理解】

\* 「バイバイ」と手をふると理解している  
(9~10ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く									完全に
していない									している

\* 「イナイ・イナイ・バー」を喜ぶ  
(9ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く									いつもみ
ない									られる

\* 「ダメ」に反応する  
(12ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く									完全に
ない									反応する

\* 指さしたほうをみる  
(12ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く									いつもみ
みない									る

【音声言語表出】

\* 子音が発声できる、「プ」、「マ」など他に

\* ひとりのときもよく声をだしている  
(9~10ヶ月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全く									よくみ
ない									られる

⇒ 「やりとり遊び(相互性)やイナイイナイバーなど相手の反応を期待」などの親指導へ

【座位姿勢と筋緊張の領域】

記入日 \_\_\_年 \_\_\_月 \_\_\_日 ( 歳 \_\_\_ヶ月)

該当する \* や・に○をつけてください

\* からだが反ってしまって椅子に座れない →【筋緊張評価表】と筋緊張コントロールプログラムへ

(座位レベル 1)

\* 反ってしまうが、サポートがあれば椅子に座れる →【座位にするためのサポート量の評価】へ

(座位レベル 2)

\* 座らせられるが、その姿勢を維持できない →【座位にするためのサポート量の評価】へ

(座位レベル 3)

\* 座っていられるが動けない。両手を前についてバランスを保つ必要がある →【座位にするためのサポート量の評価】へ

( Hallet R. et al "Description and evaluation of an assessment form" Physiotherapy 73: 220-225, 1987.)

※訓練プログラムは抗重力姿勢の発達促進が主眼で、まずは良い座位を補助を使って完成させる。その後、促進プログラムを用いてセラピスト各々の力量で挑むことになる。

※ポジショニングは重度の発達障害を持つ子どもにとって発達異常を最小限にとどめ、潜在能力を最大限に発揮できる環境を整えてくれる。



### 【筋緊張評価表】

〈訓練前〉と〈訓練直後〉のお子さんの状態をお答えください。機嫌の比較的良いときに、以下の動作についてどのくらいのやりやすさでしょうか。0から10までの段階のバー（0   v     v   10）上にv（チェック）をつけてください（アナログスケールといいます）。{非常に困難}を0として、{すごく楽にできる}を10としてください。どの辺に位置するでしょうか？訓練の前と訓練直後の2回-2つのチェックを入れて評価してください。

日付  年  月  日 （  歳  ヶ月）

\* オムツの替えやすさ 0 \_\_\_\_\_ 10

\* 着替えのとき、腕の通しやすさ 0 \_\_\_\_\_ 10

\* 「表情」の豊かさ 0 \_\_\_\_\_ 10

\* 抱きやすさ 0 \_\_\_\_\_ 10

以下の2項目は訓練前を記入してもらいます。その後、2番目のチェックは次回の訓練時におたずねしますので記入してください(変化を調べます)。

\* 入浴のさせやすさ 0 \_\_\_\_\_ 10

\* 寝かしつけやすさ 0 \_\_\_\_\_ 10

※頻回の筋緊張コントロールプログラム、その他の前庭・固有覚刺激等の指導へ

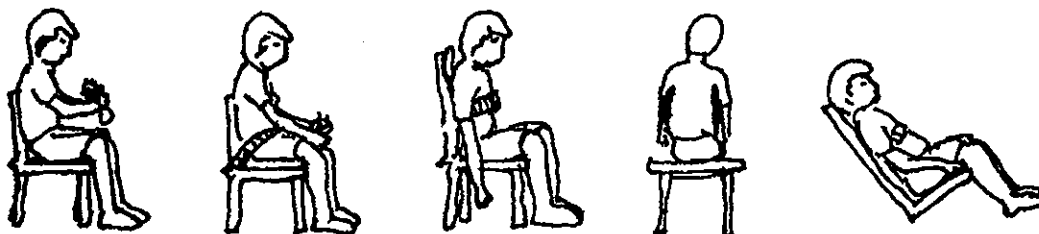
### 【座位にするためのサポート量の評価】

以下4種類の座らせるために必要となる補助すべてに Oをつけてください(複数回答可)。

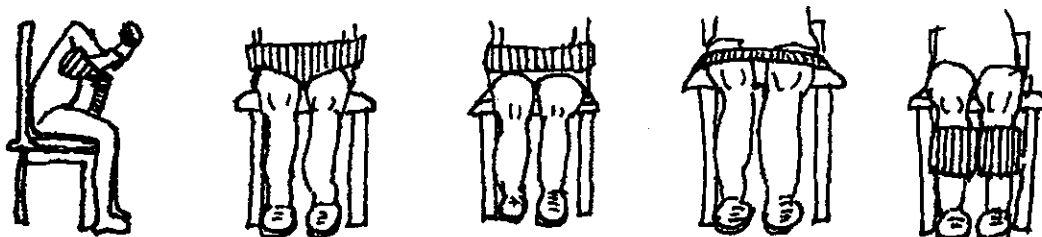
記入日  年  月  日 （  歳  ヶ月）



1 後ろからの補助 2 前からの補助 3 頸をひく補助 4 右側からの補助 5 左側からの補助

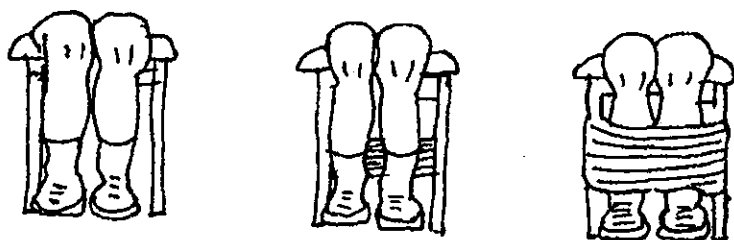


1 背もたれでの補助 2 下腹部までの補助 3 胸部までの補助 4 左右横の補助 5 リクライニングの補助



1 2 3 4 5

1 テーブルなど前からの支えの補助 2 股が閉じない・ずり落ちないための支えの補助 3 左右対称にするための補助 4 脚を引き寄せるための補助 5 両足を離す補助



1 床による補助 2 レッグレストによる補助 3 足バンドによる補助

### 訓練目標 と 治療プラン

氏名 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

◎ 計画作成日 年 月 日 年齢 歳 ヶ月

母の希望(具体的に) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

現状の達成度(具体的に) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

期待できる目標とアプローチ方法

・方法 \_\_\_\_\_ によって \_\_\_\_\_ を目指す

・方法 \_\_\_\_\_ によって \_\_\_\_\_ を目指す

施行期間 \_\_\_\_\_ ヶ月

施行前後の遂行度と施行後の満足度(保護者の評価を10点満点で) \_\_\_\_\_ 年 月 日

計画作成日:この目標に対しどれくらい  
上手にできますか

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全然									とても上手
できない									にできる

評価日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
この目標に対し今はどれくらい  
上手にできますか

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全然									とても上手
できない									にできる

この結果に対してどれくらい満足して  
いますか

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全然									とても満足
満足していない									している

# 脳性麻痺者の二次障害の実態とその防止に関する研究 — 成人脳性麻痺者に対する肢体不自由児施設の現状と役割 —

落合達宏、森本晋一、黒部利恵（宮城県拓桃医療療育センター）

## 研究要旨

成人脳性麻痺者に対する肢体不自由児施設の現状と役割について調査を行った。本年度は全国の肢体不自由児施設における 18 歳以上の脳性麻痺者の通院状況について調査した。全国の肢体不自由児施設 64 施設に対してアンケートによる調査を行った。回答を得たのは 53 施設からの回答のうち自由記入部分について記載を検討した。成人脳性麻痺の二次障害は痛みの訴えや関節拘縮が特徴的で、対応策としてストレッチや ROM 訓練など末梢への治療が重要となる。また、肢体不自由児施設への役割は小児のみで完結するものではなく、成人も含めた脳性麻痺専門病院としての位置づけが求められていることが述べられていた。

### A) 研究目的

脳性麻痺者の二次障害を予防するための関わりを考えると、成人脳性麻痺者を取り巻く環境へのアプローチとともに、小児期から関わってきた肢体不自由児施設からの継続的なアプローチも重要かつ実効的なものとなる可能性が高い。

本研究では成人脳性麻痺者に対する肢体不自由児施設の現状と役割について、全国の肢体不自由児施設における 18 歳以上の脳性麻痺者の通院状況についての調査を行った。

### B) 研究方法

全国の肢体不自由児施設 64 施設に対してアンケートによる調査を行った。アンケートは設問と回答欄を A4 の返信用紙一枚にまとめ、各施設長あてに郵送したものを FAX で返信してもらい集計した。

とくに本年度は自由記入について記載を検討した。

### C) 研究結果

前年度の結果まとめ

回答を得た 53 施設中

・成人脳性麻痺者が定期的に通院しているのは 51 施設 (96%)

・一般の外来としてが 25 施設 (47%)

・小児期からの脳性麻痺児外来の延長が 21 施設 (40%)

・成人脳性麻痺専門外来は 1 施設のみ

・定期的な受診者数は 50 人以下が 40 施設 (76%)

・最高齢は 40 代と 50 代にあるが 31 施設 (40%)

・年齢分布は 20 代か 30 代を頂点に漸減が 39 施設 (74%)

・18 歳以前に比して、それ以後に半数以下に減るのが 38 施設 (75%)

・定期的な受診の頻度はさまざま

### 3/6ボランティアグループ・個人受付簿

	グループ名	参加者氏名	決定場所	備考
1	岡山県青少年育成アドバイザー協会	杉岡 恒	体力測定	岡山FC
2	岡山県青少年育成アドバイザー協会	鹿森 淳	体力測定	岡山FC
3	岡山県青少年育成アドバイザー協会	鹿森 千恵子	体力測定	岡山FC
4	岡山県青少年育成アドバイザー協会	新谷 道子	体力測定	岡山FC
5	クローバー	奥野 芳朗	ゲームコーナー	北FC
6	クローバー	松本 栄子	ゲームコーナー	北FC
7	つむぎの会	多賀 寿美	点字コーナー	北FC
8	つむぎの会	森安 泉	点字コーナー	北FC
9	つむぎの会	島田 一三	点字コーナー	北FC
10	つむぎの会	松本 文子	点字コーナー	北FC
11	つむぎの会	杉山 かほる	点字コーナー	北FC
12	つむぎの会	井上 貞子	点字コーナー	北FC
13	ふれあいスポーツグループ	繁森 幸子	ストレッチ	岡山FC
14	ふれあいスポーツグループ	真水 ユタカ	ストレッチ	岡山FC
15	ふれあいスポーツグループ	伊藤 喜久子	ストレッチ	岡山FC
16	西大寺健康づくり応援団	星野 次男	ストレッチ	西大寺FC
17	西大寺健康づくり応援団	光本 壯	ストレッチ	西大寺FC
18	西大寺健康づくり応援団	秋山 佳子	ストレッチ	西大寺FC
19	西大寺健康づくり応援団	林 万治子	ストレッチ	西大寺FC
20	西大寺健康づくり応援団	長尾 正枝	ストレッチ	西大寺FC
21	個人登録(西大寺)	塩見 久美子	体力測定	西大寺FC
22	個人登録	村上 宏	本部	岡山FC
23	個人登録(北)	板野 美保子	体力測定	北FC
24	個人登録(北)	吉田 幸代	体力測定受付	北FC
25	個人登録(北)	河田 真祐子	ゲームコーナー	北FC
26	にこにこクラブ(西大寺)	高橋 弘子	体力測定	西大寺FC
27	にこにこクラブ(西大寺)	橋本 利恵	体力測定	西大寺FC
28	県立短期大学	日笠 智恵	ユニカール	健康体育専攻の学生さん
29	県立短期大学	横山 久美子	ユニカール	健康体育専攻の学生さん
30	県立短期大学	古市 祐子	ユニカール	健康体育専攻の学生さん
31	県立短期大学	野宮 綾子	体力測定	健康体育専攻の学生さん
32	県立短期大学	山本 早紀	体力測定	健康体育専攻の学生さん
33	岡山大学点訳の会きつつき	作江 芳美治	ゲームコーナー	北FC
34	岡山大学点訳の会きつつき	忠政 計志	ゲームコーナー	北FC
35	岡山大学点訳の会きつつき	安井 寿行	ゲームコーナー	北FC
36	岡山大学点訳の会きつつき	桑谷 玲子	ゲームコーナー	北FC
37	岡山大学点訳の会きつつき	守屋 健太郎	ゲームコーナー	北FC
38	高校生ボラ	今谷 彩加	ゲームコーナー	岡山FC
39				
40				

# 岡山市ボランティア名簿

	団体名	参加者氏名	担当	備考
1		遠藤 敏之	清掃	
2		遠藤 明	清掃	
3		東舎 陽子	清掃	
4		山中 恵美	清掃	
5		浅沼 玲子	清掃	
6		奥埜 潤	清掃	
7		川島 真由美	清掃	
8		近藤 裕子	清掃	
9		斎藤 千春	清掃	
10		中藤 理恵	清掃	
11		中原 輝子	清掃	
12		松永 禎典	清掃	
13		田淵 敬久	清掃	
14		日笠 真理子	清掃	
15		田淵 大輔	清掃	
16		板野 朋子	清掃	
17		高中 美和	清掃	
18		吉見 敦子	清掃	
19		五藤 裕子	清掃	
20	岡山市手をつなぐ育成会 No. 1	松永 博子	清掃	
21		田淵 孝子	清掃	
22		大森 佐代子	清掃	
23		窪田 寿美男	清掃	
24		篠岡 弘樹	清掃	
25		田宮 保浩	清掃	
26		平松 伸一	清掃	
27		藤森 幸生	清掃	
28		福島 洋治	清掃	
29		吉岡 孝生	清掃	
30		五藤 怜美	清掃	
31		大森 寛	清掃	
32		藤井 英之	清掃	
33		田中 君江	清掃	
34		太田 郁男	清掃	
35		太田 宣子	清掃	
36		竹内 のぶ子	清掃	
37		村田 美穂子	清掃	
38		村田 恵美子	清掃	
39		安東 純子	清掃	
40		安東 美津子	清掃	

# 岡山市ボランティア名簿

	団体名	参加者氏名	担当	備考
41	岡山市手をつなぐ育成会 No. 2	島村 恵子	清掃	
42		米川 勝子	清掃	
43		太田 弘子	清掃	
44		野々口 斐子	清掃	
45		熊代 美津子	清掃	
46		藤井 百合子	清掃	
47		田中 和子	清掃	
48		心石 文絵	ステージ	
49		神原 尚子	ステージ	
50		田中 万紀子	ステージ	
51		浜崎 誠	ステージ	
52		渡辺 恭子	ステージ	
53		米川 康一	ステージ	
54		熊代 利子	ステージ	
55		橘田 元子	ステージ	
56		今井 鐘子	ステージ	
57		中川 洋美	ステージ	
58		岩井 洋子	ステージ	
59		矢吹 信子	ステージ	
60		馬木 裕子	ステージ	
61	岡山県肢体不自由児 福祉協会岡山支部	宮本 敏行	清掃	
62		岩田 辰男	清掃	
63		大谷 正雄	清掃	
64		孝本 茂樹	清掃	
65		中谷 保	清掃	
66		森本 稔	清掃	
67		森本 博則	清掃	
68		佐藤 悦子	清掃	
69		新山 弘子	清掃	
70		西田 弘子	清掃	
71		鳥越 満芳	清掃	
72	岡山市聴覚障害者協会	中西 厚美	会場案内係	
73		松本 恒雄	会場案内係	
74		阿部 まゆみ	会場案内係	
75		岡崎 利光	会場案内係	
76		羽原 裕子	会場案内係	
77		佐藤 美恵子	会場案内係	
78		大岡 政恵	会場案内係	
79		山根 和子	会場案内係	
80		佐藤 美津子	会場案内係	
81		納富 久美子	会場案内係	

# 岡山市ボランティア名簿

	団体名	参加者氏名	担当	備考
82	岡山県難聴者協会岡山ブロック	川場 充	清掃	
83		田口 正夫	清掃	
84		若林 美佐	清掃	
85		赤木 義治	清掃	
86		山本 嘉子	清掃	
87		橋本 太美子	清掃	
88		宗田 章	清掃	
89		岡野 君子	清掃	
90		植田 菊野	清掃	
91		石田 信治	清掃	
92		浅浦 啓子	清掃	
93		大森 登美子	清掃	
94		小曳 廣江	清掃	
95		岡山市身体障害者福祉協会	藤本 安衛	会場案内係
96	渡辺 四郎		会場案内係	
97	遠藤 太郎		会場案内係	
98	飯田 満須子		会場案内係	
99	田中 麻美		会場案内係	
100	岸 千枝子		会場案内係	
101	奥津 侃		会場案内係	
102	山内 喜三子		会場案内係	
103	谷口 幸枝		会場案内係	
104	門田 幸子		会場案内係	
105	松島 隆		会場案内係	
106	木村 裕子		会場案内係	
107	猪木 正輝		会場案内係	
108	川畑 キン		会場案内係	
109	山名 利子		会場案内係	
110	畝尾 早苗		会場案内係	
111	則安 永子		会場案内係	
112	鷹取 清彦		会場案内係	
113	岡山市視覚障害者協会	上岡 吉夫	マッサージ	
114		大藤 武彦	マッサージ	
115		黒瀬 健二	マッサージ	
116		柴田 富夫	マッサージ	
117		西井 正美	マッサージ	
118		納田 学	マッサージ	
119		福原 隆行	マッサージ	
120		房野 設二	マッサージ	
121		前岡 隆夫	マッサージ	
122		門木 昇	マッサージ	
123		三輪 多美子	ガイドヘルプ	
124		大藤 智恵子	付き添い	
125		納田 喜恵子	付き添い	他1名ガイドヘルパー予定



### 3/6 ふれあいスポーツフェスティバルinおかやま 場所別スタッフ一覧

★印の方がその場所のリーダーです。休憩時間等の指示をさせていただきます。

#### 本部スタッフ

	氏名	所属	所属FC	担当場所	備考
1	大森 祥治	事業	岡山	★本部	
2	岡崎 弥太郎	事業	岡山	本部(駐車場)	
3	石原 美由紀	事業	岡山	本部	
4	安保 真一	事業	岡山	本部	(9:30~10:00広報担当)
5	折出 真	事業	岡山	本部	
6	本所薫(PMのみ)	福祉	岡山	本部	
7	石原 聡子	管理	西	本部	
8	山本 一夫	管理	南	本部	
9	村上 宏	個人ボラ	岡山	本部(駐車場)	
10	竹重 都子	福祉	岡山	本部(救護班)	
11	江見 由香里	事業	西大寺	本部(屋台・福祉の店)	
12	内田 智美	事業	岡山	本部(受付)	
13	花房 香織	事業	岡山	本部(受付)	
14	橋本 真由美	福祉	岡山	本部(全体見回り)	
15	三宅 徹	福祉	西	本部(全体見回り)	
16	原 直樹	総務	岡山	本部(記録係)	
17	矢吹 雄	管理	西大寺	本部(記録係)	
18	小野 徳子	総務	岡山	本部(ゴミ)	
19	森本 智子	総務	岡山	本部(ゴミ)	
20	岸上 佳代子	情報	岡山	本部(ゴミ)	
21	鶴川 紀子	情報	岡山	本部(ゴミ)	
22	橋台 寧子	総務	岡山	本部(ゴミ)	
23	河本 慶次	事業	西大寺	アスポ音響・ストレッチ体験	
24	久富 恵子	事業	西大寺	本部(PC担当)	

#### メインステージイベント

	氏名	所属	所属FC	担当場所	備考
1	青山 賢吾	事業	西	★ステージ総括	
2	直木 祐輔	総務	岡山	ステージ	
3	峰松 里衣	事業	西	ステージ	
4	蜂谷 奈緒子	事業	西	ステージ	(アスポ司会)
5	菊山 由美	情報	西	ステージ	

### 3/6 ふれあいスポーツフェスティバルinおかやま 場所別スタッフ一覧

★印の方がその場所のリーダーです。休憩時間等の指示をさせていただきます。

#### 体力測定コーナー

	氏名	所属	所属FC	担当場所	備考
1	山上 英樹	事業	北	★体力測定総括	
2	安東 峰子	事業	北	体力測定	
3	守安 弘典	事業	北	体力測定	
4	西岡 利恵	管理	北	体力測定	
5	矢吹 貴子	管理	西	体力測定	
6	濱田 睦子	管理	西	体力測定	
7	杉岡 恒	岡山県青少年育成アドバイザー協会	岡山	体力測定	
8	鹿森 淳	岡山県青少年育成アドバイザー協会	岡山	体力測定	
9	鹿森 千恵子	岡山県青少年育成アドバイザー協会	岡山	体力測定	
10	新谷 道子	岡山県青少年育成アドバイザー協会	岡山	体力測定	
11	塩見 久美子	個人ボラ	西大寺	体力測定	
12	高橋 弘子	にこにこクラブ	西大寺	体力測定	
13	橋本 利恵	にこにこクラブ	西大寺	体力測定	
14	板野 美保子	個人ボラ	北	体力測定	
15	吉田 幸代	個人ボラ	北	体力測定(受付)	
16	野宮 綾子	県立短期大学	南	体力測定	
17	山本 早紀	県立短期大学	南	体力測定	

#### ゲームコーナー

	氏名	所属	所属FC	担当場所	備考
1	神田 浩二	事業	北	★ゲーム総括	
2	別所 恭子	児童館	岡山	ゲームコーナー	
3	板野 裕美	児童館	岡山	ゲームコーナー	
4	九鬼 ゆりか	児童館	岡山	ゲームコーナー	
5	吉村 美紗	事業	西大寺	ゲームコーナー	
6	難波 智子	管理	西大寺	ゲームコーナー	
7	大西 史織	事業	北	ゲームコーナー	
8	向山美代子(午前)	児童館	北	ゲームコーナー	
9	佐藤 千鶴	児童館	北	ゲームコーナー	
10	式田 智子	児童館	北	ゲームコーナー	
11	松尾 香里	管理	北	ゲームコーナー	
12	小見山 翔子	管理	北	ゲームコーナー	
13	今谷 彩加	高校生ボラ	岡山	ゲームコーナー	
14	奥野 芳朗	クローバー	北	ゲームコーナー	
15	松本 栄子	クローバー	北	ゲームコーナー	
16	河田 真佑子	個人ボラ	北	ゲームコーナー	
17	作江 芳美治	岡山大学点訳の会きつき	北	ゲームコーナー	
18	忠政 計志	岡山大学点訳の会きつき	北	ゲームコーナー	
19	安井 寿行	岡山大学点訳の会きつき	北	ゲームコーナー	
20	桑谷 玲子	岡山大学点訳の会きつき	北	ゲームコーナー	
21	守屋 健太郎	岡山大学点訳の会きつき	北	ゲームコーナー	

### 3/6 ふれあいスポーツフェスティバルinおかやま 場所別スタッフ一覧

★印の方がその場所のリーダーです。休憩時間等の指示をさせていただきます。

#### ニュースポーツ体験

	氏名	所属	所属FC	担当場所	備考
1	原田 英雄	事業	南	★ニュースポーツ総括	
2	難波 文子	福祉	岡山	グラウンドゴルフ	
3	湯浅 啓子	児童館	西大寺	グラウンドゴルフ	
4	村田 伸子	児童館	西大寺	グラウンドゴルフ	
5	那須 美知子	児童館	西大寺	グラウンドゴルフ	
6	國廣 大祐	事業	南	グラウンドゴルフ	
7	森田 恭代	事業	南	ペタンク	
8	小寺 由美子	児童館	南	ペタンク	
9	淵上 恵美	管理	南	ペタンク	
10	安田 信幸	福祉	岡山	ユニカール	
11	野上 邦子	児童館	西	ユニカール	
12	日笠 智恵	県立短期大学	南	ユニカール	
13	横山 久美子	県立短期大学	南	ユニカール	
14	古市 祐子	県立短期大学	南	ユニカール	
15	次田 真理子	児童館	西	ディスコン	
16	片山 智香子	福祉	岡山	ディスコン	
17	逸見 貢	児童館	南	ディスコン	
18	西村 茂治	福祉	岡山	シャッフルボード	
19	近藤 久美	福祉	岡山	シャッフルボード	
20	山磨 保子	福祉	南	シャッフルボード	
21	角道 佳子	レク受講生	岡山	シャッフルボード	
22	近藤 弘子	レク受講生	岡山	シャッフルボード	
23	小林 由紀	事業	南	バウンドテニス	
24	板野 洋子	福祉	岡山	バウンドテニス	
25	杉本 恵子	児童館	南	バウンドテニス	

#### ストレッチ体験コーナー

	氏名	所属	所属FC	担当場所	備考
1	繁森 幸子	ふれあいスポーツグループ	岡山	ストレッチ	
2	真水 ユタカ	ふれあいスポーツグループ	岡山	ストレッチ	
3	伊藤 喜久子	ふれあいスポーツグループ	岡山	ストレッチ	
4	星野 次男	西大寺健康づくり応援団	西大寺	ストレッチ	
5	光本 壯	西大寺健康づくり応援団	西大寺	ストレッチ	
6	秋山 佳子	西大寺健康づくり応援団	西大寺	ストレッチ	
7	林 万治子	西大寺健康づくり応援団	西大寺	ストレッチ	
8	長尾 正枝	西大寺健康づくり応援団	西大寺	ストレッチ	

### 3/6 ふれあいスポーツフェスティバルinおかやま 場所別スタッフ一覧

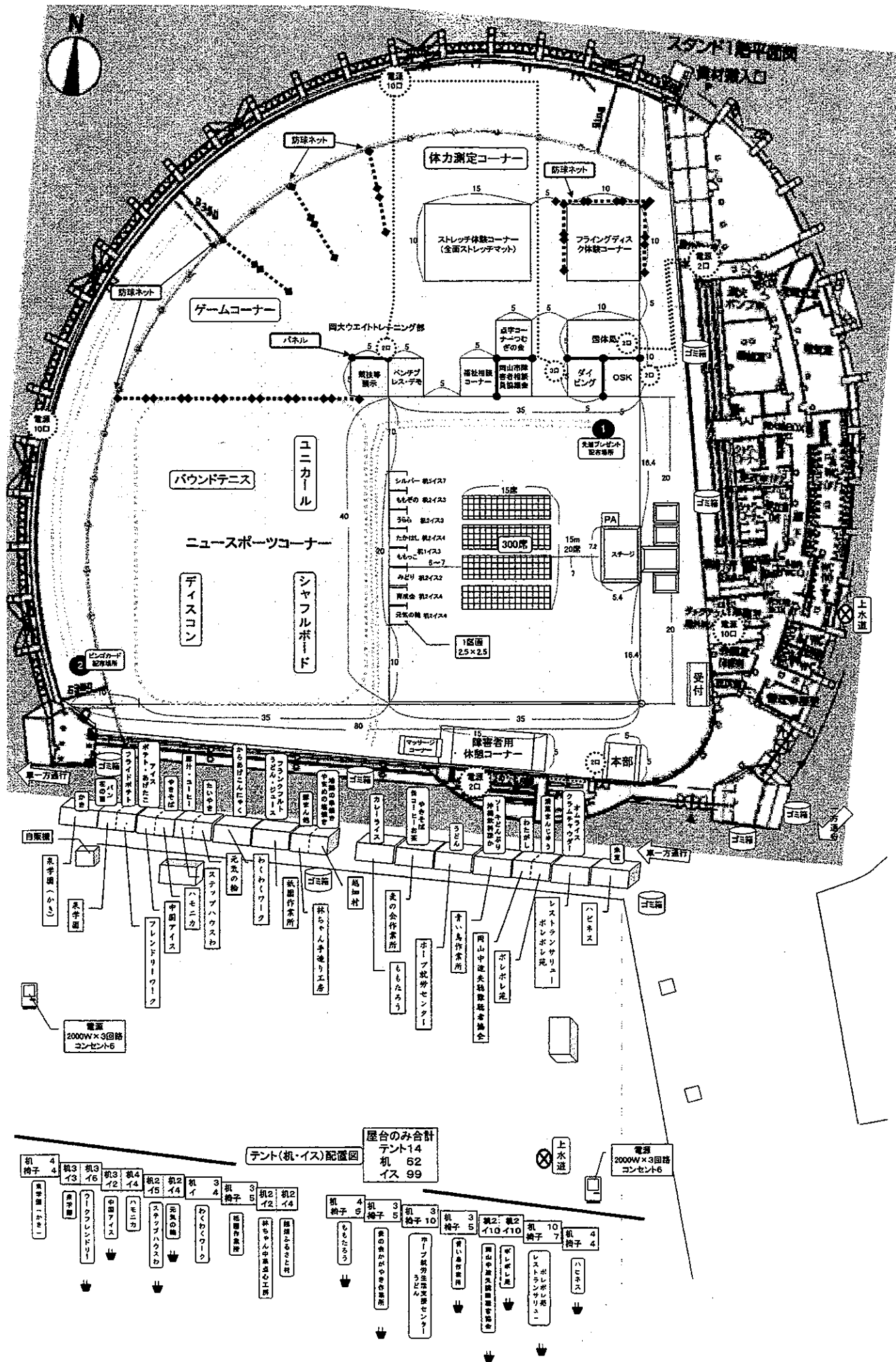
★印の方がその場所のリーダーです。休憩時間等の指示をさせていただきます。

#### 点字体験

	氏名	所属	所属FC	担当場所	備考
1	藤野 浩子	つむぎの会	北	点字コーナー	
2	上野 敬尚	つむぎの会	北	点字コーナー	
3	多賀 寿美	つむぎの会	北	点字コーナー	
4	森安 泉	つむぎの会	北	点字コーナー	
5	島田 一三	つむぎの会	北	点字コーナー	
6	松本 文子	つむぎの会	北	点字コーナー	
7	竹野 広子	つむぎの会	北	点字コーナー	
8	杉山 かほる	つむぎの会	北	点字コーナー	
9	原田 美栄子	つむぎの会	北	点字コーナー	
10	井上 貞子	つむぎの会	北	点字コーナー	

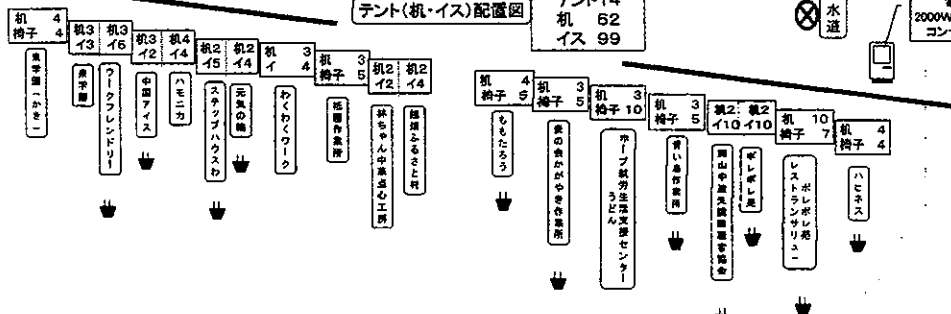
平成16年度ふれあいスポーツフェスティバル 出展団体一覧

企業名(団体名)	内容	参加		機	イス	電源	準備日	担当	備考
		ブース	デモ						
1 日本潜水指導者協会(JULIA) 障害者潜水協会(HSA)	障害者ダイビングブース	○		2	6	3		向井	ビデオ使用
2 (株)岡山スポーツ会館 OSKスポーツクラブ	・姿勢測定 ・エアロデモ、リズム運動	○	○	2	5	2	前日準備	吉川	姿勢の評価と改善運動。姿勢測定装置でテレビデオ(2台)使用
3 うーまらいぜーしょん 森の風クラブ	乗馬体験	○		4	20	—	当日8時	山内	砂袋、手話通訳の腕章、手話通訳のカレー券(2枚)を準備。
4 岡山大学ウエイトレニング部	筋トレのデモ、体験、展示	○		3	4	2		伊藤	デモ時にビデオ使用。コンパネ2枚準備。140kgウエイト、ゴムマット持参。展示用に5mバックパケル必要。
5 岡山市視覚障害者協会	マッサージコーナー	○		4	20	—		前岡	1回500円(10分)?パーテーション9個
6 岡山市手をつなぐ育成会	・会場清掃 ・ステージ(3B体操) ・フライングディスク	○	○	1	4	—	フラ-前日 午後準備	大森 高 中	出展ブース(福祉の店)は手工芸品の販売
7 岡山市障害者相談員協議会	相談窓口	○		2	15	—		山内喜 美子	5m x 1mの横断幕使用
8 基幹型在宅介護支援センター	相談窓口	○		3	10	1	当日準備	藤本	骨密度測定、血圧、体脂肪、福祉関係各種相談、疑似体験。
9 つむぎの会	点字教室	○		3	14	—			
10 健康づくり応援団	ストレッチ	○		2	4	—			
11 国体局	風船、ももっち、国体PRなど	○	○	8	10	1		藤本	ビンゴの前にももっちPRを2~3分した後、ビンゴの手伝いをしてもらう。
12									
13									
14									
				34	112	8			



屋台のみ合計  
 テント14  
 机 62  
 イス 99

テント(机・イス)配置図



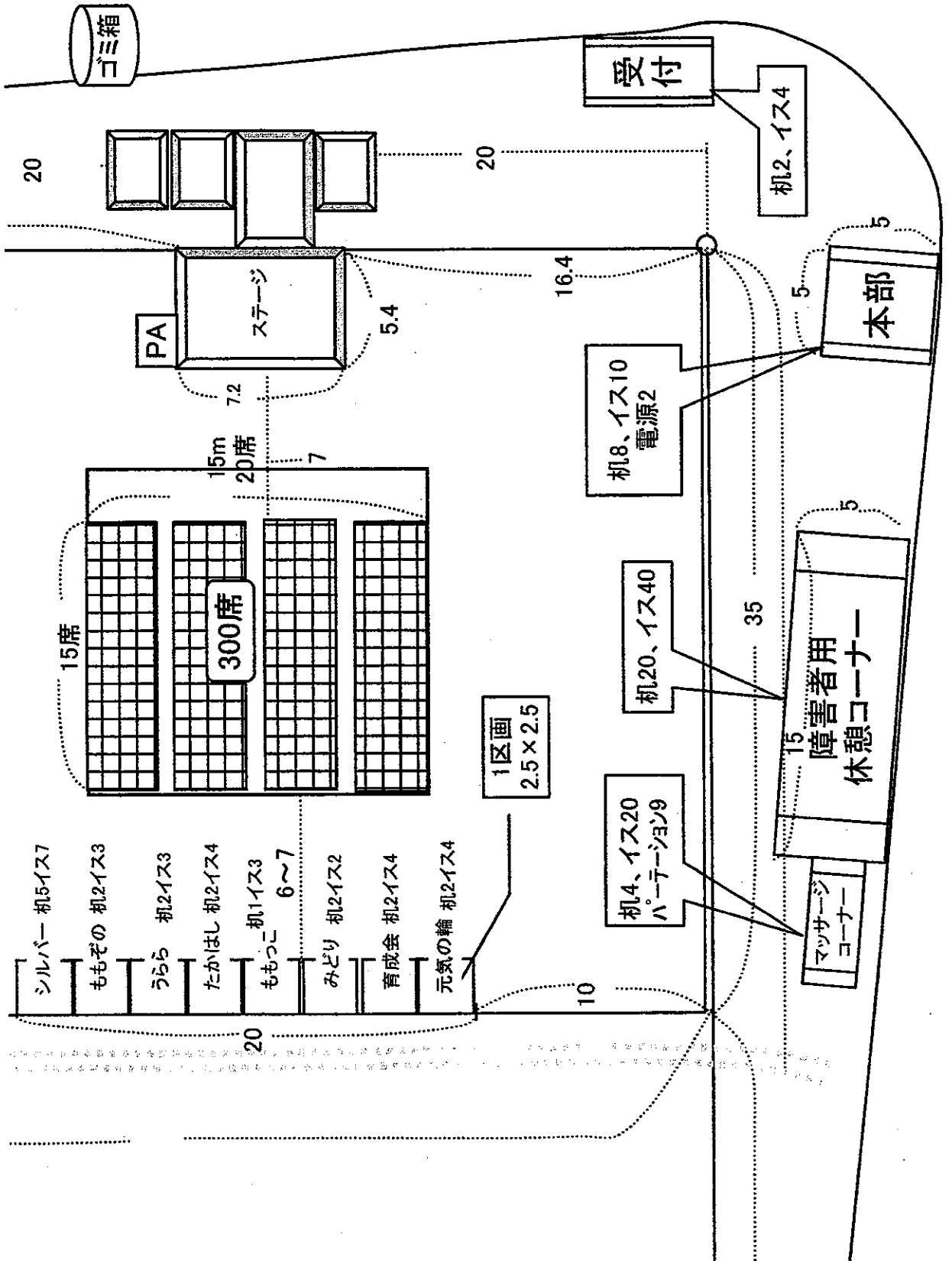
電源  
 2000W×3回路  
 コンセント6

電源  
 2000W×3回路  
 コンセント6

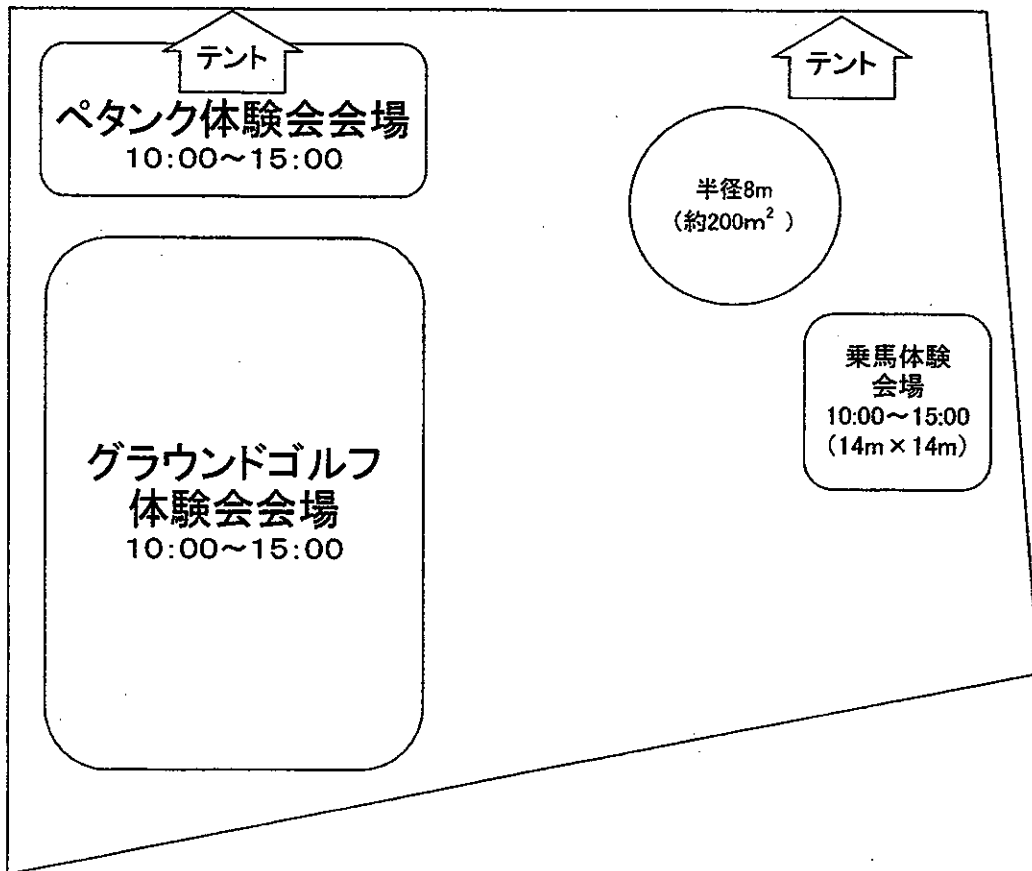
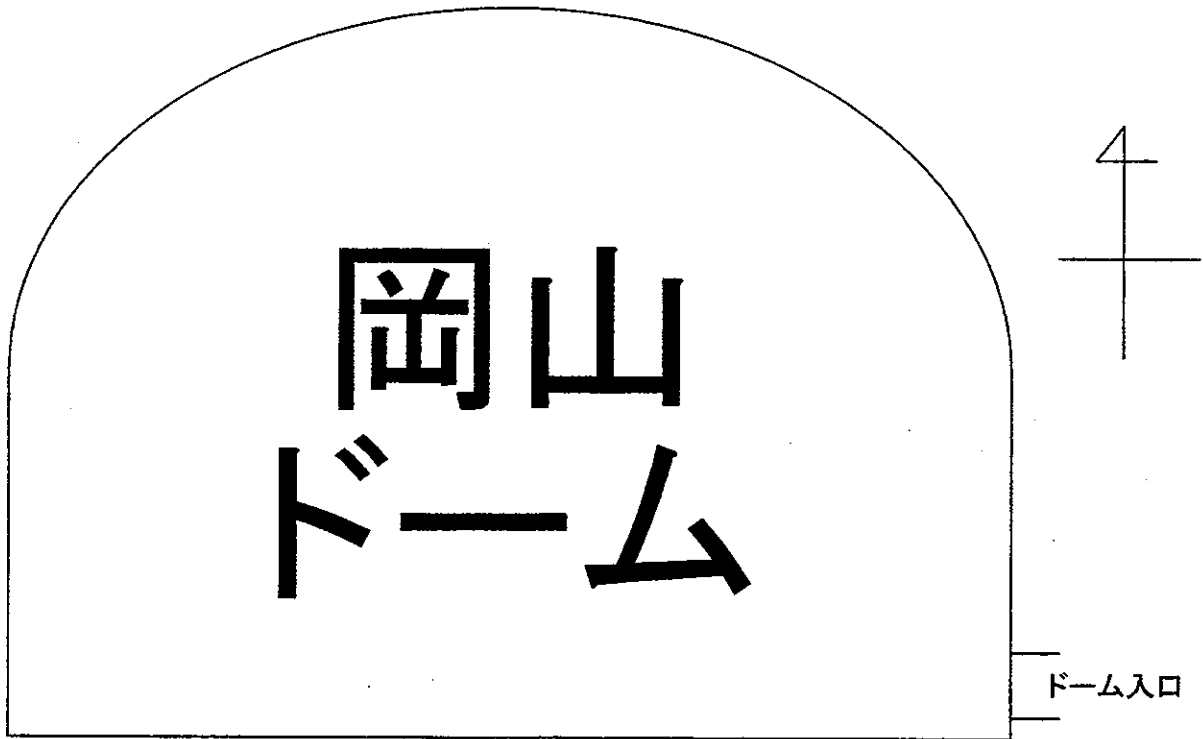
上水道



# 本部付近拡大図







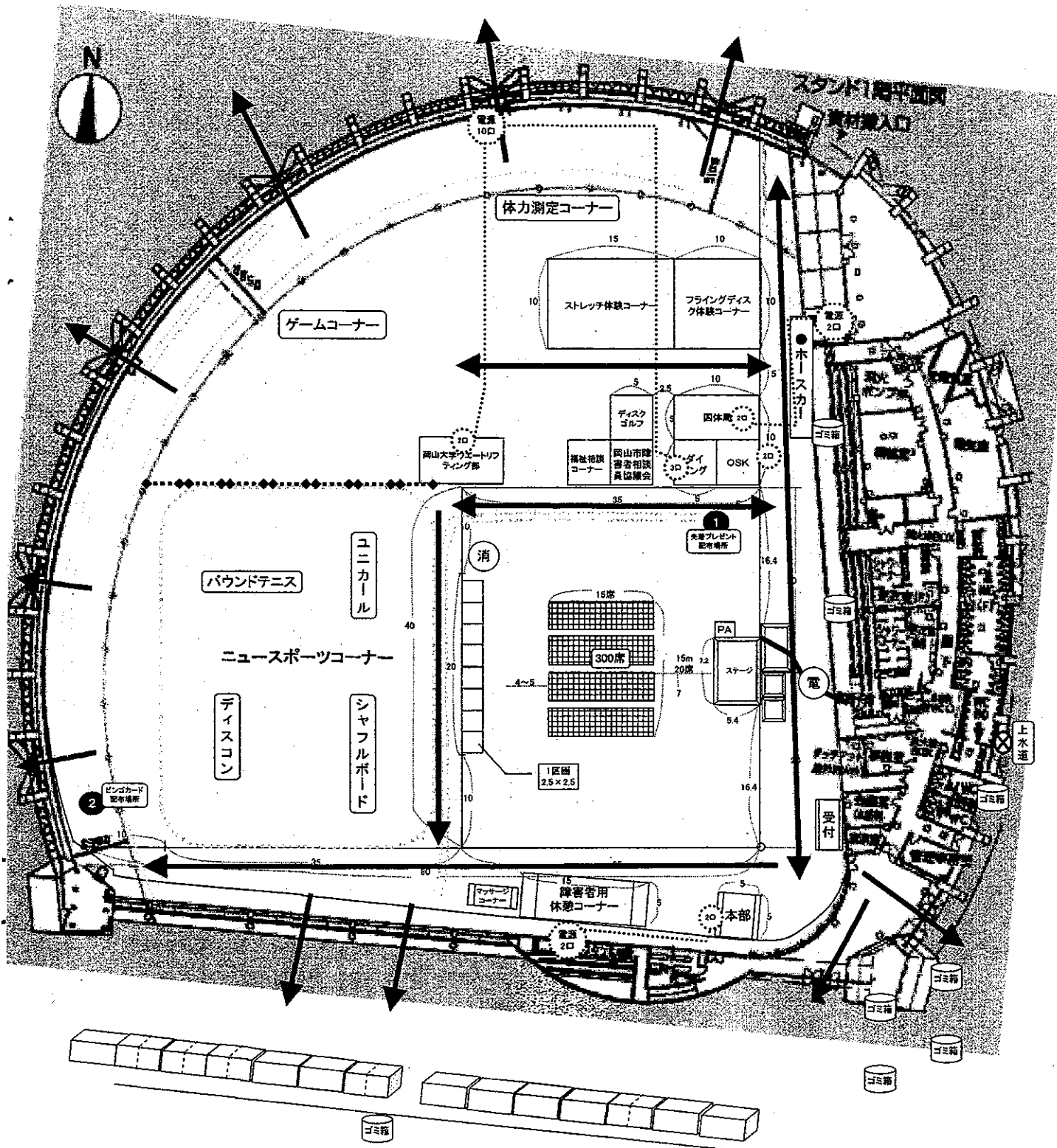
ASPPO側

# 岡山ドーム 避難経路

← 避難経路(通路は5m幅以上確保)

電 電源(電源コードは防災シート等で養生する)

消 消火器

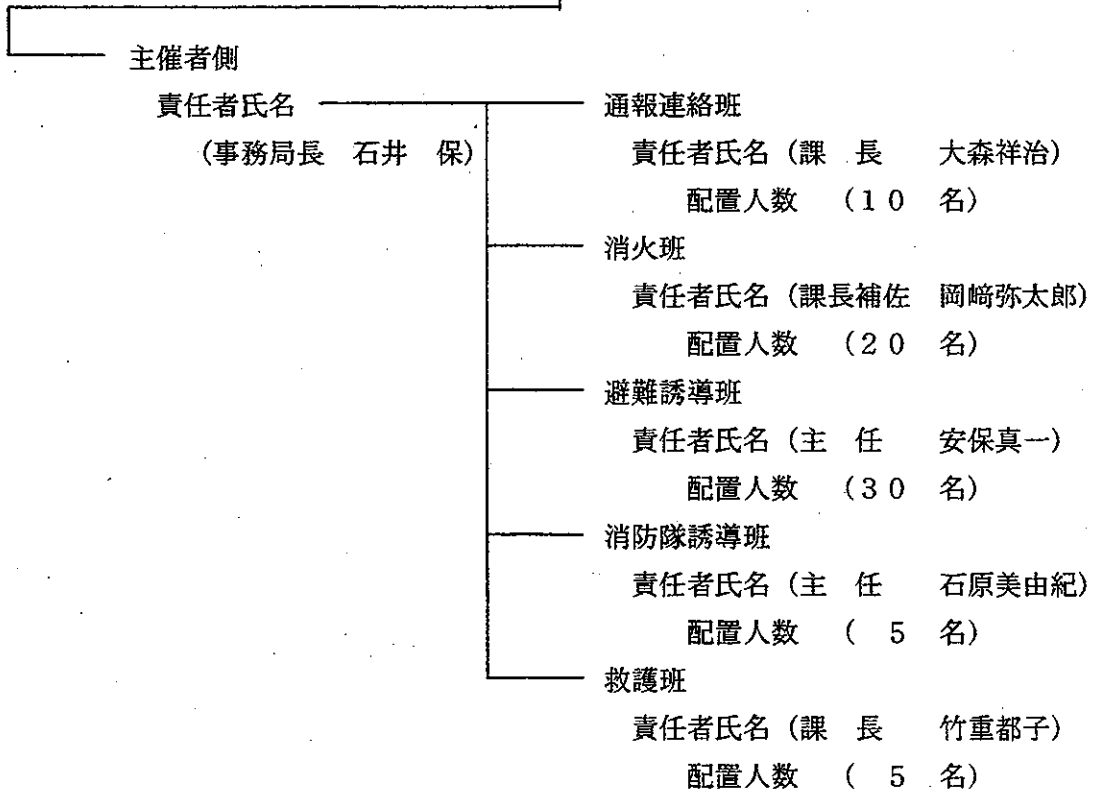
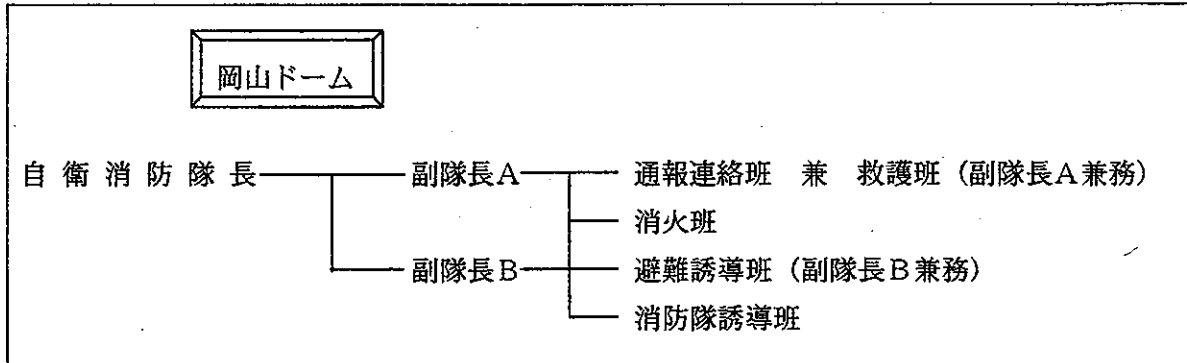


火を使用する場所には消火器を設置  
(ドーム内は火気使用なし)

# ① 自衛消防隊組織図

1. 下記により岡山ドームとイベント主催者側とで自衛消防体制をとることとする。

## 自衛消防隊の組織



## 教育・訓練の実施日時

( 3月5日15時から、職員に対し防火教育を行う )



厚生労働科学研究費補助金  
障害保健福祉総合研究事業



## I. 障害者スポーツの基礎理解

---

障害者スポーツの基礎理解（概論）	1
障害者スポーツの発展	16
各国における障害者スポーツの情報提供サイトの紹介 宇田和正	19
ノルウェーの障害者スポーツの展開 森高 茜	37

## II. 障害者スポーツ

---

CP SOCCER CLUB	41
「Fan Fun SLEDGE !!」	45
HCかざぐるま	47
JULIA	49
NPO法人千葉県ヒューマンセラピー協会	61
愛知県社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センター	65
大分国際車いすマラソン	66
大阪車いすテニス協会	68
沖縄フェニックス	70
関東身体障害者陸上競技協会	72
国際障害者ダイビング指導協会	73
自閉症のままで	75
静岡県障害者フライングディスク協会	77
障害者カヌー協会	78
障害者乗馬	82
障害者登山サークル しろうまの会	88
スキー・フォー・ライト ジャパン	91
スノープリズムクラブ	97
スペシャルオリンピックス日本	101
太陽の家プレイカーズ	103
誰でも森林体験オフリール	104
東京障害者乗馬協会	106
東京スポーツ愛好クラブ	109
名古屋フェニックス	111
日本車いすダンススポーツ連盟 新潟支部	112
日本車いすテニス協会 (JWTA)	113
日本車椅子バスケットボール連盟	115

※このHPは、2005年3月1日現在の情報です。

日本視覚障害ゴルフアース協会	118
日本障害者ゴルフ協会	119
日本障害者スキー連盟	124
日本障害者フライングディスク連盟	125
日本身体障害者ライフル射撃連盟	128
日本身体障害者アイススポーツ連盟	130
日本身体障害者水泳連盟	131
日本身体障害者野球連盟	134
日本脳性麻痺7人制サッカー協会	139
日本バリアフリーダイビング協会	140
バリアフリーハーバー	142
パルネットワーク	144
フェスピック連盟	146
ふれあい乗馬くらぶ 蹄跡の森 清武ホースパーク	147
北海道障害者スポーツ健康開発研究会	150
宮崎ZUCCA 車椅子ツインバスケットボールチーム	151
八幡東身体障害者福祉協会ソフトボール部「八幡スネールズ」	153
山ネット	155
ユニバーサルスポーツ協会	156
横浜ドリーマーBAY F・C (障害者サッカーチーム)	157
ヨットエイド千葉	163
FESPIC	164
中国残疾人联合会	179

### Ⅲ. 障害者施設

Cスクエアあじさい	183
アイ愛センター	184
愛弘会	190
愛知県心身障害者コロニー	191
あいち清光会	193
アガベセンター	195
あしたば(光明会)	197
厚田はまなす園	200
社会福祉法人育成会	205

石川障害者職業能力開発校	206
伊豆医療福祉センター	208
茨城県立視覚障害者福祉センター	209
茨城県立リハビリテーションセンター	214
いわてリハビリテーションセンター	217
愛媛県視聴覚福祉センター	220
大分県身体障害者福祉センター	224
大阪府立障害者交流促進センター	228
乙訓福祉会	230
香川県身体障害者総合リハビリテーションセンター	232
神奈川県総合リハビリテーションセンター	233
鹿野グリーンハイツ	235
かな会	240
熊本県身体障害福祉センター	241
高知市障害者福祉センター	243
神戸ろうあハウス	244
国際障害者交流センター ビッグ・アイ	245
埼玉県障害者交流センター	247
埼玉県総合リハビリテーションセンター	251
雑草福祉会	253
滋賀県立障害者福祉センター	255
滋賀県立聴覚障害者センター	258
静岡医療福祉センター児童部	259
静岡光の家	261
信濃福祉施設協会	264
島田療育センター	269
島根県社会福祉事業団	272
社会就労センター セルプ弥生	273
障害者職業総合センター	275
小規模作業所「カサ・チコ」	276
上州水土舎 知的障害者（通所）授産施設セルプ水土舎	280
全社協・全国身体障害者施設協議会	282
身体障害者療護施設「清流の郷」	283

すてっぷ	286
太陽の家	287
たびだち作業所	290
知的しょうがい者入所施設ながい寮	291
中部障害者解放センター	294
東京都障害者福祉会館	296
東京都心身障害者福祉センター	297
東京都聴覚障害者生活支援センター	301
とちぎ視聴覚障害者情報センター	304
戸山サンライズ	305
中津サテライトオフィス	306
長野県身体障害者リハビリテーションセンター	307
名古屋市総合リハビリテーションセンター	309
新潟ふれ愛プラザ	311
はるな郷online	312
兵庫県立出石精和園	313
広島県身体障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センター・おりづる	315
広島県立身体障害者リハビリテーションセンター	320
広島市中心身障害者福祉センター	323
福祉の店ほっとと・福祉工房ハミングバード	328
福山六方学園 地域療育支援センター あしすと	331
ふれ愛プラザ	333
別府リハビリテーションセンター	335
三重県身体障害者総合福祉センター	337
三重県リハビリテーション支援センター	339
みどりみんなの家	340
恵の園	342
毛呂病院 光の家	349
山口県身体障害者福祉センター	351
横浜市総合保健医療センター	354

#### IV. その他 ..... 359~394

#### V. 岡山県障害者スポーツネットワーク